

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成26年1月14日

【四半期会計期間】 第66期第3四半期（自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日）

【会社名】 株式会社ラピーヌ

【英訳名】 L A P I N E C O . , L T D .

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 市川 雅邦

【本店の所在の場所】 大阪市北区天満一丁目5番7号

【電話番号】 (06) 6358 - 2251 (代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 新野 孝弘

【最寄りの連絡場所】 大阪市北区天満一丁目5番7号

【電話番号】 (06) 6358 - 2251 (代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 新野 孝弘

【縦覧に供する場所】 株式会社ラピーヌ 東京店
(東京都品川区西五反田七丁目22番17号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第65期 第3四半期連結 累計期間	第66期 第3四半期連結 累計期間	第65期
会計期間	自平成24年 3月21日 至平成24年 12月20日	自平成25年 3月1日 至平成25年 11月30日	自平成24年 3月21日 至平成25年 2月28日
売上高(千円)	8,996,275	8,679,427	11,184,870
経常利益(千円)	451,424	425,682	216,911
四半期(当期)純利益(千円)	411,685	442,120	185,356
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	397,731	512,846	274,384
純資産額(千円)	7,577,497	7,781,413	7,450,150
総資産額(千円)	12,302,172	12,431,753	11,916,025
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	16.33	18.86	7.37
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	16.28	18.71	7.35
自己資本比率(%)	61.5	62.5	62.5

回次	第65期 第3四半期連結 会計期間	第66期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 9月21日 至平成24年 12月20日	自平成25年 9月1日 至平成25年 11月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	15.74	19.27

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移は記載しておりません。

2 売上高には消費税等は含まれておりません。

3 第65期は決算期変更により平成24年3月21日から平成25年2月28日までの11ヵ月8日間となっております。

4 第65期の決算期変更により、第65期第3四半期連結累計期間は平成24年3月21日から平成24年12月20日まで、第65期第3四半期連結会計期間は平成24年9月21日から平成24年12月20日までとなり、第66期第3四半期連結累計期間は平成25年3月1日から平成25年11月30日まで、第66期第3四半期連結会計期間は平成25年9月1日から平成25年11月30日までとなっております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び連結子会社2社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済環境は、政府・日銀による積極的な経済政策や金融緩和政策への期待感から、円高の是正や株式市場の好転局面となり、全体として景気回復に向けた動きが見受けられるものの、一方で海外経済の成長鈍化など下振れリスクが懸念されるなど、先行き不透明感から楽観視できない状況にあります。

当社グループが所属するアパレル業界におきましても、宝飾品や一部のラグジュアリーブランド等高額品が売上を牽引する一方で、個人所得環境の改善が遅れる中、依然として節約志向が継続するなど消費全体の回復感が感じられない状況とともに、原材料の高騰や電気料金の値上げなどの影響もあり、当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しいものと認識しております。

このような情勢を踏まえ、当社グループは、中期経営計画「NL2015」に掲げる商品企画・生産・販売にわたる事業活動のバリューアップによる顧客満足度の高いサービスの提供とともに、コストダウンにも努め、卸売事業の収益改善と小売事業の拡大、経営効率改善と財務体質強化実現に向けた施策を実行してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は86億79百万円となり、損益面におきましては、営業利益は4億30百万円、経常利益は4億25百万円となりました。また、四半期純利益は4億42百万円となりました。

セグメント別の業績の概要は次のとおりであります。

<卸売事業>

ブランドグループ別の事業部制のもと、卸売事業の安定的収益確保と取扱いブランドの価値向上につながる商品開発に努めてまいりました。第2四半期連結累計期間の営業損失から黒字転換しましたものの、長く続いた残暑から一転した気温の低下により秋物衣料販売が苦戦し、当第3四半期連結累計期間の卸売事業の売上高は68億71百万円となり、営業利益は3億84百万円となりました。

<小売事業>

当社子会社の株式会社ベルラピカが運営する婦人服・婦人雑貨小売店「ベルミラン」やセレクトショップ「ラグライア」、当社直営店のセレクトショップ「パッキア」や、直輸入レザーコレクションを取り扱う「m0851」など、市場や顧客のセグメントを明確にした商品品揃えや販売促進活動、接客技術の向上などに努め、既存顧客の満足度向上並びに新規顧客の獲得を通じて採算性・収益性向上に取り組んでまいりました。しかしながら、卸売事業と同様に秋物衣料販売が苦戦したほか、新規出店のインシャルコスト負担もあり、当第3四半期連結累計期間の小売事業の売上高は18億5百万円となり、営業利益は59百万円となりました。なお、当第3四半期連結累計期間に当社の直営店2店、株式会社ベルラピカの直営店4店を出店し、同期間末の店舗数は合計で42店舗となっております。

なお、当社は前連結会計年度より決算期を3月20日から2月末日に変更しております。これに伴い、当第3四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年11月30日まで）は、比較対象となる平成25年2月期第3四半期連結累計期間（平成24年3月21日から平成24年12月20日まで）と期間が異なることから、業績に関する比較は記載しておりません。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて5億15百万円増加し、124億31百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少1億95百万円、仕掛品の減少1億20百万円があった反面、商品及び製品の増加5億28百万円、受取手形及び売掛金の増加2億39百万円があったことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて1億84百万円増加し、46億50百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加49百万円、長期借入金の増加47百万円があったことによるものです。

また、純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3億31百万円増加し、77億81百万円となりました。これは主に四半期純利益の計上により利益剰余金が3億92百万円増加したことによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	79,800,000
計	79,800,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年1月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	27,670,642	27,670,642	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	27,670,642	27,670,642	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月1日～ 平成25年11月30日	-	27,670	-	4,354,021	-	2,002,723

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年8月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年11月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 4,396,000	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 23,000,000	23,000	-
単元未満株式	普通株式 274,642	-	-
発行済株式総数	27,670,642	-	-
総株主の議決権	-	23,000	-

（注） 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式135株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年11月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
（自己保有株式） 株式会社ラピーヌ	大阪市北区天満一丁目 5番7号	4,396,000	-	4,396,000	15.88
計	-	4,396,000	-	4,396,000	15.88

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において、役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

3．決算期変更について

当社は、平成24年6月15日開催の第64回定時株主総会において、定款の一部変更を決議し、決算期を3月20日から2月末日に変更いたしました。

従って、前連結会計年度は、平成24年3月21日から平成25年2月28日までの11ヵ月8日間となっております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,438,780	1,242,930
受取手形及び売掛金	1,497,450	1,736,534
商品及び製品	2,082,702	2,610,719
仕掛品	280,637	159,740
原材料及び貯蔵品	48,194	74,826
繰延税金資産	156,249	190,446
その他	148,464	113,251
貸倒引当金	2,400	2,770
流動資産合計	5,650,078	6,125,679
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,415,286	1,409,819
機械装置及び運搬具(純額)	27,558	27,746
土地	3,341,243	3,341,243
その他(純額)	97,221	99,188
有形固定資産合計	4,881,309	4,877,996
無形固定資産		
その他	22,167	21,703
無形固定資産合計	22,167	21,703
投資その他の資産		
投資有価証券	582,281	621,962
差入保証金	700,170	704,059
その他	161,987	164,182
貸倒引当金	81,970	83,832
投資その他の資産合計	1,362,469	1,406,373
固定資産合計	6,265,947	6,306,073
資産合計	11,916,025	12,431,753

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	871,380	921,237
1年内返済予定の長期借入金	474,784	565,684
1年内償還予定の社債	120,000	120,000
未払金	446,964	428,463
未払費用	47,617	82,409
未払法人税等	31,778	71,710
返品調整引当金	93,700	113,100
ポイント引当金	20,137	19,480
その他	81,085	127,963
流動負債合計	2,187,447	2,450,048
固定負債		
社債	60,000	-
長期借入金	1,856,074	1,812,661
退職給付引当金	173,722	180,891
資産除去債務	64,648	70,310
その他	123,982	136,428
固定負債合計	2,278,427	2,200,291
負債合計	4,465,875	4,650,339
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,354,021	4,354,021
資本剰余金	2,021,434	2,021,378
利益剰余金	1,357,077	1,749,647
自己株式	397,351	537,006
株主資本合計	7,335,181	7,588,041
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105,124	176,849
繰延ヘッジ損益	1,264	266
その他の包括利益累計額合計	106,389	177,115
新株予約権	8,580	16,256
純資産合計	7,450,150	7,781,413
負債純資産合計	11,916,025	12,431,753

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月21日 至 平成24年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)
売上高	8,996,275	8,679,427
売上原価	4,899,471	4,582,769
売上総利益	4,096,803	4,096,657
販売費及び一般管理費	3,608,804	3,666,049
営業利益	487,998	430,607
営業外収益		
受取利息	1,148	3,261
受取配当金	11,540	7,955
為替差益	13,072	11,802
その他	27,393	16,121
営業外収益合計	53,154	39,141
営業外費用		
支払利息	49,282	32,943
その他	40,446	11,123
営業外費用合計	89,729	44,066
経常利益	451,424	425,682
特別利益		
投資有価証券売却益	5,465	55,310
特別利益合計	5,465	55,310
特別損失		
固定資産除売却損	3,085	4,048
投資有価証券売却損	1,503	1,798
投資有価証券評価損	158	-
減損損失	278	1,285
事業所閉鎖損失	0	1,457
退職加算金	26,371	-
特別損失合計	31,397	8,590
税金等調整前四半期純利益	425,492	472,402
法人税、住民税及び事業税	15,981	61,818
法人税等調整額	2,174	31,536
法人税等合計	13,806	30,282
少数株主損益調整前四半期純利益	411,685	442,120
四半期純利益	411,685	442,120

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月21日 至 平成24年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	411,685	442,120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,392	71,725
繰延ヘッジ損益	438	998
その他の包括利益合計	13,954	70,726
四半期包括利益	397,731	512,846
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	397,731	512,846
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

コミットメントライン契約

当社は、資金需要に対する機動性と安全性の確保及び資金効率向上を図ることを目的に、取引銀行とシンジケーション方式によるコミットメントライン契約を締結しておりますが、当該契約には一定の財務制限条項が付されております。

なお、この契約による当第3四半期連結会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
コミットメントラインの総額	2,000,000千円	2,000,000千円
借入実行残高	-	-
差引額	2,000,000千円	2,000,000千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
減価償却費	113,173千円	115,795千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年3月21日 至 平成24年12月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月15日 定時株主総会	普通株式	50,650	2.00	平成24年3月20日	平成24年6月18日	資本剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は平成24年6月15日開催の第64回定時株主総会の決議に基づき、平成24年6月15日をもって下記のとおり資本準備金及び利益準備金の額の減少及び剰余金の処分を行いました。

(1) 資本準備金及び利益準備金の額の減少

今後の機動的な資本政策及び株主の皆様への配当に備えるため、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の一部及び利益準備金の全額を減少させ、それぞれその他資本剰余金及び繰越利益剰余金に振替えました。

減少した準備金の項目及びその額	
資本準備金	2,000,000千円
利益準備金	496,747千円
増加した剰余金の項目及びその額	
その他資本剰余金	2,000,000千円
繰越利益剰余金	496,747千円

(2) 剰余金の処分

会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金及び別途積立金で繰越欠損を解消し、その他資本剰余金のうち50,650千円を期末配当の原資に充当いたしました。

減少する剰余金の項目及びその額	
その他資本剰余金	1,949,349千円
別途積立金	400,000千円
増加する剰余金の項目及びその額	
繰越利益剰余金	2,349,349千円

当第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月29日 定時株主総会	普通株式	49,549	2.00	平成25年2月28日	平成25年5月30日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成25年4月16日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得などにより、自己株式は当第3四半期連結累計期間において139,654千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において537,006千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年3月21日 至 平成24年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	卸売事業	小売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	7,307,425	1,688,850	8,996,275	-	-	8,996,275
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	7,307,425	1,688,850	8,996,275	-	-	8,996,275
セグメント利益又は損失()	424,067	65,075	489,142	1,143	-	487,998

(注)1 「その他」の区分は、「ラピーヌ夢ファーム株式会社」にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	卸売事業	小売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	6,871,703	1,805,848	8,677,551	1,876	-	8,679,427
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	6,871,703	1,805,848	8,677,551	1,876	-	8,679,427
セグメント利益又は損失()	384,252	59,738	443,991	13,383	-	430,607

(注)1 「その他」の区分は、「ラピーヌ夢ファーム株式会社」にかかる金額であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	16円33銭	18円86銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	411,685	442,120
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	411,685	442,120
普通株式の期中平均株式数(千株)	25,209	23,439
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	16円28銭	18円71銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(千株)	76	189
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年1月9日

株式会社ラピーヌ
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大西 康弘 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 千崎 育利 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ラピーヌの平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ラピーヌ及び連結子会社の平成25年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。